

企画展

フェノロサの
愛した寺



—三井寺北院の名刹—

法明院



平成31年3月2日(土)~4月14日(日)

- 開館時間 午前9時~午後5時 (入場は午後4時30分まで)
- 休館日 月曜日・3月22日(金)
- 場所 大津市歴史博物館 企画展示室A
- 主催 大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館・ 京都新聞
- 後援 NHK大津放送局・ BBTびわ湖放送・ radio
- 特別協力 天台寺門宗・園城寺
- 協力 日本フェノロサ学会・数珠巡礼会・びわ湖百八霊場会

- 観覧料 一般 600円 (480円)
- 高大生 300円 (240円)
- 小中生 200円 (160円)

※()内は前売、15名以上の団体、大津市内在住の65歳以上の方、大津市内在住の障がい者、介護保険の要介護者、要支援者の方の割引料金(割引するものをご提示ください)。前売り券は、大津市内観光案内所(大津駅・石山駅・堅田駅前)、ローソンチケット(Lコード54797)をはじめ、京阪津地区のおもなプレイガイドで2月8日から3月24日まで発売。

大津市歴史博物館

〒520-0037 大津市御陵町2-2 TEL.077-521-2100
<http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>

企画展

フェノロサの
愛した寺

法明院

—三井寺北院の名刹—



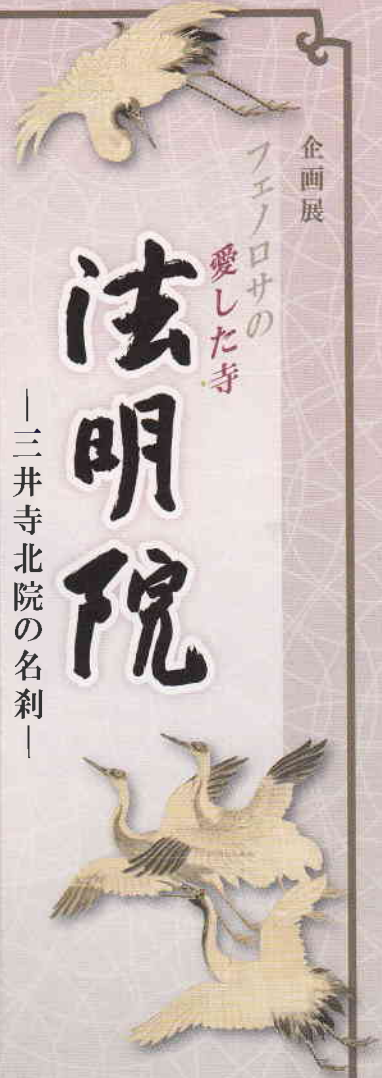
絹本着色新羅明神像
室町時代(15世紀)
園城寺(法明院)蔵



木造不動明王立像
平安時代(12世紀)
園城寺(法明院)蔵



木造義瑞和尚坐像
江戸時代(18世紀)
崇福寺蔵



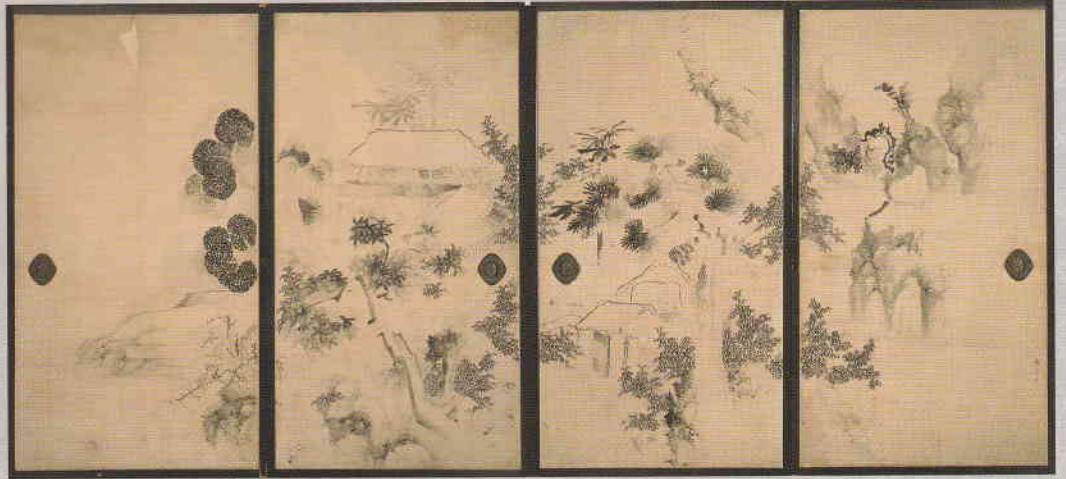
明治時代、アメリカから来日したアーネスト・F・フェノロサは、日本美術の宣揚に努めたことで知られています。彼が愛し、そして遠いイギリスの地で亡くなる際に帰りたいと願った場所が、園城寺(三井寺)の北端に位置する法明院です。長等山の中腹に位置し、享保八年(一七二三)、義瑞性慶によって開かれた同寺は、「園城の律院」と称され、開山以降数多くの学僧を輩出し、天台教学の復興に努めた学問の寺として栄えました。その堂内には、近世文人画の巨匠である池大雅や、円山派の始祖である円山応挙、鶴沢派の三代目である鶴沢探索らによる障壁画が数多く残されています。

明治時代に入ると、フェノロサや、彼と共に日本美術に傾倒したウィリアム・S・ビゲローは、たびたび法明院を訪れており、当時の住職であった順道(桜井)敬徳や融照敬円(直林寛良)らと親交を深めました。フェノロサとビゲローは、没後、彼等の希望により同寺に葬られ、今もこの地に眠っています。

本展では、フェノロサとビゲローにゆかりのある法明院の絵画や彫刻、古文書、聖教などの宝物を展示し、同寺の歴史と文化を紹介します。



フェノロサ・ビゲロー関係史料
園城寺(法明院)蔵



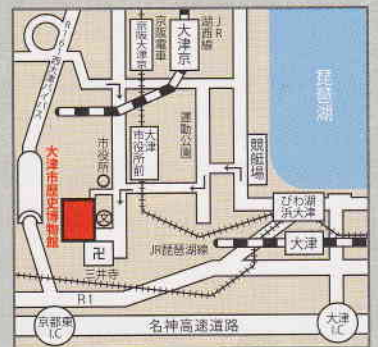
大津市指定文化財 紙本墨画幽居図 池大雅筆
江戸時代(18世紀) 園城寺(法明院)蔵

※出陳品の一部は会期中に展示替えを行いますので、詳細は当館ホームページでご確認ください。
 表面使用写真 左上：フェノロサ肖像写真 園城寺(法明院)蔵、左下：大津市指定文化財 紙本墨画山水図 円山応挙筆 江戸時代(18世紀) 園城寺(法明院)蔵
 右：紙本着色群鶴図 鶴沢探索筆 江戸時代(18世紀) 園城寺(法明院)蔵、題字：滋野野郎

企画展関連講座

※有料。事前申し込みが必要。詳しくは大津市歴史博物館まで。

3月16日(土)	現地見学会	フェノロサ・ビゲローのお墓参り	鯉井 清隆 (本館学芸員)
3月23日(土)		「法明院障壁画」を考える	五十嵐 公一氏 (大阪芸術大学 教授)
3月30日(土)	フェノロサ学会 共催講座	フェノロサ— 社会進化論と美術と仏教	佐藤 道信氏 (東京藝術大学 教授)
4月6日(土)		法明院を愛したフェノロサとビゲロー	井上 瞳氏 (愛知学院大学 准教授)
4月13日(土)	フェノロサ学会 共催講座	フェノロサの愛した日本美術—『東洋美術史綱』を読む	大久保 美春氏 (比較文化研究者)



京阪電鉄 石山線本郷「大津市役所前」駅(徒歩約5分)
 JR湖西線「大津京」駅下車徒歩約15分
 駐車場 約70台(無料)

大津市歴史博物館

〒520-0037 大津市御陵町2-2 TEL.077-521-2100
<http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>